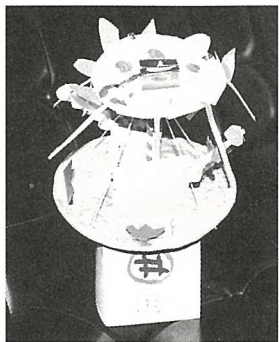




4年 大橋 舞子さん



『シャボン玉を飛ばそう』

※シャボン玉が飛んでいるように見えるように針金でつなげてみました。



『しおふきくじら』



1年 向後 匠くん

※あつめたふくらでつくったよ。しおをふいているところがじょうずにできたよ。



あつまれみんなの力作



『サメの運命』



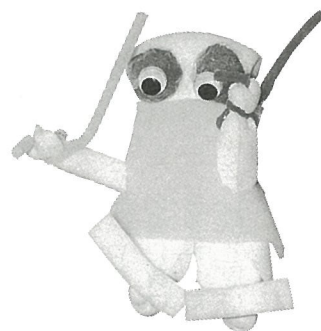
5年 椎名 将人くん

※去年、親レクの地びき網でとれたサメがとても心に残っていたので作品にした。



2年 今関 裕二くん

※服の中に足と手を入れるところと足をかのようにするのをはがらばった。



『ふわふわロボット・キュツ!』



6年 中曽根はづきさん



『自然は友達』

※タイトルはリングを使い、大きく、ていねいに仕上げました。



『絵のぐでお話』



3年 大木 愛美さん

※クラッカーをならしたよ。パンという音がして、きれいなテープが出てきたよ。



ひかり歌壇



伊藤 定男(尾 垂)

万象の眠れる夜半に目覚めけり
雑念交々朝となり来る

ふと目を覚まし、その後寝つけな
い夜の奇立ちがよくうたわられてい
る

藤代 敏子(宮 川)

芽吹き初む樹々の梢に緑増し
爽やか五月の訪れを待つ

青葉の季節が待ち遠しい

越川 義則(二 又)

夏衣季節のうつろい感じつつ
妻のしぐさのほのかな恥じらい

衣替えの妻に改めて愛しさを感じる

安田 和子(作間内)

青空に流るる雲を追いながら
この地に馳れよとわが胸に言う

光町に移住して、間もない作者の
心情がよくわかる

評者 鈴木甲子幸

評者吟

雨に濡れふれあひ径の「くぐり杉」
太古のロマン語りつ巡る